



上野南部 自治協だより

令和7年3月1日 第81号
発行 上野南部地区
住民自治協議会
編集 広報部会
<http://ueno-nanbu.com>



生涯学習支援事業

～迎春の寄せ植え教室～

詳しくは、
👉



令和6年12月22日（日）13時30分から、NHK 趣味の園芸にご出演の奥 隆善さんを昨年引き続き講師にお迎えし、「迎春寄せ植え教室」を開催しました。

花がたくさん咲くように、植物にとっての良い土についてお話を聞きました。肥料成分はそれぞれの役割があり、単独で働くのではなく、さまざまな養分が助け合って植物を成長させているそうです。

37名の参加者の皆さんは、メモをとったりして真剣に聞いておられました。

寒さに負けない花たちが、玄関や庭先、ベランダでも冬を華やかに彩ってくれそうです。



生涯学習支援事業

～干支飾りづくり～

詳しくは、👉



令和7年1月25日（土）13時30分から、上野南部地区市民センターのサークル「手工芸教室」で活躍されている北寺 眞弓さんを講師に、押し絵の干支飾りづくり教室を開催しました。

先生の説明を聞きながら、あらかじめ作って下さったキットを見本にして、台紙の色や巳年のパーツを選び、『巳』の形を整えて作成、色紙台紙に材料を張り付け『巳』の干支飾りが完成しました。

参加した13名の押し絵は、同じ材料でもそれぞれの個性が出ていて素敵でした。



▶▶▶裏面に「地域安全部会、自治・環境部会共催の防災訓練」を掲載しています

地域安全部会

自治・環境部会

～令和6年度 防災訓練～

詳しくは、☞



令和7年1月26日（日）9時から、上野南部地区市民センターにおいて、地域安全部会、自治・環境部会共催の『防災訓練』を開催し、73名が参加しました。

まず、町別で受付を行い、ガス発電機の取り扱いについて地域安全部会長から説明があり、外気温が低すぎるとガスが気化せず、発電機の役目を果たさないことを教えていただきました。

続いて、伊賀市防災危機対策局 藤田次長から「能登半島地震について」と題して講話をしていただきました。

話の冒頭では、伊賀市において大きな災害が発生した際に、それぞれがやらなければいけない防災対策を考えながら聞いてほしいと話されました。続けて、能登半島地震の被害の映像や避難所での写真をスクリーンに写しながら、体験したこと、感じたことなど説明いただきました。その後、伊賀市で過去に起こった安政の伊賀上野地震や、今後想定されている地震についての話聞き、実際に伊賀市でも地震が起こったらと考える機会になりました。

そして今年は阪神淡路大震災から30年が経過し、災害ボランティア活動を続けている地域安全部会の中瀬さんが伊賀上野ケーブルテレビにご出演時の映像をみて、地震が起きた時に安否確認ができるように、毎年訓練をしていかないと感じました。

最後に、住民の皆さんが健康でいること、あいさつなど普段の隣り近所の付き合いが防災にとってあたりまえに大切なことを話していただきました。

講話のあとは、各体験ブースを巡りました。第1研修室では防災グッズの展示や段ボールベッド、災害時の簡易トイレの展示、駐車場では起震車体験と煙道体験、消火器訓練をそれぞれ体験し、車中泊できる車両を見学しました。

わが上野南部は、耐震化など被害を減らす事前の対策や、避難所の環境改善などたくさん課題も多いですが、私たち自身も、普段から災害を想定した『防災訓練』を継続していくことで、もしもの時に「自らの身の安全は自らが守る」「自分たちの町は自分たちで守る」という行動ができるのではないかと思います。



ガス発電機を説明している森川部会長



防災危機対策局 藤田さんからの講話



ICT 出演の地域安全部会 中瀬さん



段ボールベッド組立中～



起震車で震度7を体験！



車中泊もできる自動車



前が見えない！煙道体験



両部会長による消火訓練
水消火器デモンストレーション